

第6回青森市アリーナプロジェクト有識者会議 議事録

開催日時・場所	令和元年5月13日(月) 14時～16時 青森市役所 本庁舎 2階 庁議室
出席者	<p>【委員】小山内敬子委員、柿崎泰明委員、黒田剛委員、齊藤裕一郎委員、千葉康一委員、奈良秀則委員、西秀記委員、八戸弘委員、三上巽委員、舟引敏明座長</p> <p>計10名が出席 ※慶長大輔委員、小松尚委員、は欠席</p> <p>【オブザーバー】 国土交通省東北地方整備局 建政部 都市調整官 柳原 季明 氏 青森県 県土整備部 都市計画課長 澤頭 潤 氏</p> <p>【青森市】副市長 前多正博</p> <p>経済部理事 百田満、経済部次長 横内信満、 地域スポーツ課長 遠嶋 祥剛 ほか</p> <p>都市整備部部長 大櫛寛之、都市整備部理事 長井道隆、 都市整備部次長 高村功輝、都市政策課長 坂牛裕、 公園河川課長 土岐 政温 ほか</p>
次第	<p>(1) 開会</p> <p>(2) 案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業手法について(報告) 事務局から、資料に基づいて説明 ○地域説明会の実施結果について(報告) 事務局から、資料に基づいて説明 ○アリーナの機能について 事務局から、資料に基づいて説明 ○意見聴取 委員等から意見聴取 <p>(3) 閉会</p>

(案件の内容)

座長	それでは会議を進めさせていただきます。まずは、案件（１）の「事業手法について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>それでは、資料１に基づき、事業手法の検討状況について御説明いたします。</p> <p>１ ページ目を御覧ください。これまで、民間活力を活用した事業手法として、公募設置管理制度（P a r k－P F I）のほか、P F IやD B Oなどについて、導入の可能性を検討してまいりましたので、検討状況を御報告いたします。</p> <p>２ ページ目を御覧ください。今回検討した手法は①～③の３つでございます。また、④として、比較のために従来方式で実施した場合についても記載しております。それぞれの手法については次のページ以降で御説明しております。</p> <p>３ ページ目を御覧ください。事業手法の１つ目は、全てをP a r k－P F Iで実施することを想定したものです。今回整備・運営する施設としては、主に、アリーナ本体、広場等の公園部分、民間収益施設の３つがあり、全てに対してP a r k－P F Iの制度を活用し、民間事業者のグループに設計から維持管理・運営までを一体的に実施していただくことを想定しております。また、民間収益施設の収益の一部を公共施設の部分に還元していただくこととしております。</p> <p>４ ページ目を御覧ください。事業手法の２つ目は、P a r k－P F IとD B OまたはP F Iを併用するものです。ここでは、アリーナ本体をD B OまたはP F I、それ以外の部分をP a r k－P F Iで実施することを想定しておりますが、同一のグループに設計から維持管理・運営までを一体的に実施していただくという点では事業手法の１つ目と変わりはありません。</p> <p>５ ページ目を御覧ください。事業手法の３つ目は、D B Oのみで実施するものです。記載はございませんが、P F Iの場合でも同様となります。条件設定次第ではありますが、制度上、民間収益施設の併設が必須ではないということもあり、ここでは、アリーナ本体と公園部分のみを記載しております。</p> <p>６ ページ目には、比較のため、従来方式で実施した場合のイメージ図を記載しております。従来方式の場合は、設計、建設、維持管理はそれぞれ別々の業務委託となります。</p> <p>７ ページ目を御覧ください。ここではまず、事業手法①から③までのうち、より効果的と考えられる手法を検討しております。これらの中で、活用可能な支援制度や民間事業者のリスク等を考慮したところ、事業手法②が最もメリットが大きいと考えております。</p> <p>８ ページ目では、事業手法②と従来方式について、市の財政負担の観点から比較しております。P a r k－P F IやD B Oの活用により、財政負担が減ると見込まれる部分と、増えると見込まれる部分がありますが、財政負担が増える部分が限定的であることから、総合的に見れば財政負担が減少するものと想定しております。</p> <p>今後は、財政負担の削減について、支出や収入を試算した上で確認していくことと</p>

	<p>なりますが、その項目は9ページ目と10ページ目に例示しております。</p> <p>11ページ目には今後のスケジュールを記載しております。中間とりまとめに記載のスケジュールから変更はなく、2024年度を念頭に整備を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>12ページ目を御覧ください。今後の検討事項として、要求水準の明確化やサービス対価の支払い方法などを挙げております。今後は引き続き、これらの詳細について検討を進め、民間事業者の募集につなげてまいりたいと考えております。</p> <p>御報告は以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。引き続き、案件(2)の「地域説明会の実施結果について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、資料2を御覧ください。これまで、有識者会議で御意見をいただき、先般策定いたしました、「青森操車場跡地利用計画」と「アリーナ整備の検討に係る中間とりまとめ」につきまして、地域の皆様への説明会を実施いたしましたので、御報告いたします。地域説明会は4月27日と28日の2回開催し、地域内外から、合わせて141名の方に御出席いただいております。地域説明会では、市から「青森操車場跡地利用計画」と「アリーナ整備の検討に係る中間とりまとめ」の内容について御説明したのち、資料に記載のような御質問や御意見をいただいたところでございます。御報告は以上でございます。</p>
座長	<p>ありがとうございました。引き続き、案件(3)の「アリーナの機能について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>資料3のアリーナの機能・運営の検討について御説明させていただきます。表紙をめくって1枚目の表を御覧ください。</p> <p>まず、今後のアリーナの機能・運営の検討の進め方について、御説明いたします。昨年度は、委員の皆様からいただいた御意見などを踏まえ、市としての検討を重ね、アリーナに必要な施設及びそれぞれの施設の主要機能や規模の目安として3月に中間とりまとめを示したところであり、今年度は、事業者募集に必要なアリーナ整備や運営にかかる条件等をまとめた要求水準書(案)を作成することとしております。具体的には、本日の会議では、アリーナの主要機能や詳細機能の方向性(案)を提示し、委員の皆様から御意見を伺うこととしており、次回の第7回有識者会議では第6回会議での意見を踏まえた修正と、アリーナの運営や、備品等の方向性を提示し、御意見を伺うこととしております。</p> <p>第8回有識者会議では、委員の皆様からいただいた御意見を踏まえた要求水準書(案)を、提示させていただきたいと考えています。次のページからは、これまでに寄せられた機能・運営に関する御意見に対する、市としての要求水準書(案)に記載する方向性を記しております。</p> <p>1ページ左上にあるメインアリーナの観客席と競技場が近く見やすい、可動席の検討という意見について、3月に公表しました「アリーナ整備の検討にかかる中間と</p>

	<p>りまとめ」の中では観客席と競技場が近く観戦しやすい環境にするため、ロールバックチェア等の設置を検討しますと示しております。この意見を、要求水準書（案）に反映するに当たり可動席を設置する場合は、壁面収納式とすることとしますと、より具体的な方向性を記載しています。メインアリーナの機能については、Bリーグ、Vリーグの公式試合を開催する場合の施設要件や、コンサートなどのイベントを考慮した多様な催事が開催できる施設を想定していることから、その用途に足る機能が備わっていることが条件となります。</p> <p>観客席、床、天井、空調、照明設備、壁・窓際等、音響等について寄せられた御意見を踏まえ、想定される競技の施設基準や安全性、経済性に配慮した方向性として整理しております。</p> <p>サブアリーナ等については、サブアリーナへの暖房設備整備や、多目的ルームでのダンスや会議、控室としての利用など多目的な利用に対する音響設備、鏡、ダンス練習等で使用するバー、プロジェクター、スクリーン等の設置を要求水準書（案）の中に盛り込みたいと考えております。</p> <p>トレーニングルームについては、民間事業者の意見を踏まえながら、引き続き検討することとしており、ジョギングコースについては、設置することとし、コース延長については引き続き検討することとしております。</p> <p>キッズルームについては、遊具等の設置、運動プログラム等が実施可能な空間の確保を要求水準書（案）の中に盛り込みたいと考えております。5ページのロッカールーム・シャワールーム、エントランス、トイレ、駐車場に関しましては、Bリーグ規定や、想定するイベント等の動員数等に対応することとして、方向性をまとめさせていただきます。</p> <p>防災については、防災備蓄倉庫や災害時に利用可能なマンホールトイレ等を設置することを、要求水準書に盛り込んでまいりたいとしております。</p> <p>6ページをご覧ください。バリアフリーに関しましては本施設全体において、ユニバーサルデザインの理念に基づき、年齢、性別、障がいの有無等にかかわらず、全ての利用者が快適・安全に利用できる十分な性能を確保することとし、車イス利用や高齢者・障がい者などへ十分配慮した計画とすることとしております。以上がアリーナの機能についての検討の説明となります。</p>
座長	<p>ただいま、事務局から説明のありました案件（1）から（3）につきまして、委員の皆さまから順に御質問や御意見を伺いたいと思います。</p>
委員	<p>より具体的にお示していただいたので、イメージがつくようになりましたが、避難所のところに3日間分の備蓄を用意しておく、倉庫の中でなくても確保していただきたいということで、それができる状況で非常にうれしく思います。</p> <p>マンホールトイレ等は、可能であれば常時使えるよう、災害時だけではなく、訓練の際にも使用できればと思います。</p> <p>キッズルームについて、青森市は青森県民の短命県返上を一生懸命みんなで取り</p>

	<p>組んでおられますが、お年寄りや障がいのある方、子どもたちなど、みんなが元気でこの体育館を使用するためには、子どもたちが家族で遊べる場所が非常に大事だと思います。私の自宅付近は雪が多くて冬の間は全然子供たちが遊ぶ場所がなく、デパートのプレイルームに寄るしかないのですが、そういったものが体育館の中に設置されることは非常にいいと思います。</p> <p>昨年、秋田の道の駅に行ったら、子どもたちが雨天でも遊べるプレイコーナーがあって、道の駅にもあることに驚きましたが、そのような機能も整備するということで安心しました。</p> <p>スポーツ用具等につきましても障がい者スポーツの観点で障がい者スポーツの用具は高いので購入することが難しく、貸し出ししているところが県内でただ一つ、野尻に「ねむのき会館」がありますが、貸し出し個数が少なく、中々借りられないです。</p> <p>ぜひ体育館には、障がい者スポーツのボッチャなどが貸し出しできれば、一緒に楽しめ、体育館を使用して、県大会や全国から集った仲間と東北大会等ができればと思いますので、スポーツ用具の設置についてもぜひ配慮していただきたいです。</p>
座長	次の委員をお願いします。
委員	<p>事業手法について、色々な民間のノウハウを活用できるという点では非常にいいと思います。ただし、あまりハードルが高すぎると業者が運営面で非常に苦しいと思います。その際には、市がサポート・協力できるような姿勢と体制があれば、運営等について業者が心配しなくて済むと思います。そういう意味では、市はあまり表には出ず、民間の活力を上手く引き出せるように、サポートする形で取り組んでいただければと思います。</p> <p>また、体育館だけではなく、市民が集えるような、例えば緑地を活用したイベントなどを積極的に取り入れ、地域住民が参加するといった企画により、賑わいが生まれれば非常にいいと思います。そういう意味では、周辺地域の町会などと話し合いの機会を持った協力体制を持ちながら賑わいの企画をたくさん形の形で実施していければいいと思います。</p> <p>それから、アリーナの機能について、短命県返上と新聞にこういった話題が出ていますが、健康教育的なイベント、体育館を利用した軽い運動など、地域住民が喜ぶ、子どもから高齢者まで参加できるようなものをたくさん取り入れて、実施していただければと思います。</p> <p>また、メインアリーナにおいてプロや一流のチームの試合ができるような、できるだけゲームが市民の目に触れるような形で開催してもらえればいいと思います。</p>
座長	何か事務局からございますか。
事務局	<p>事業手法のところで、ハードルが高いと事業者側が大変であるという前に、ハードルをあまり上げすぎると手が挙がらないといえますか、応募していただけないといったことが一番課題だと思いますので、これから要求水準を作成していく中で手を挙げていただきやすい一方で、市の思いも実現していただけるところをしっかりと検</p>

	<p>討していきたいと思います。</p>
座長	<p>次の委員をお願いします。</p>
委員	<p>スポーツという観点からフロアを見た際に、使用勝手が良いフロアかどうかということが非常に大きな問題です。その中で、例えばラインが複雑化しすぎて何が何だかよくわからない施設があり、色々引いてしまっても分からなくなるので、何を優先するべきかということをしっかり整理することが一つ。</p> <p>それから、各競技のそれぞれ専門家の方や協会の会長など、色々な方の色々な要望がありますが、実際には協会の会長等が現場に何が必要か全て把握しているわけではないので、現場でやっている人たちの意見、それから要望というものをしっかりとヒアリングする必要があると思います。</p> <p>割と理想論だけになり、現実問題として利用勝手の悪いもの、要するに現場で本当に必要なもの、不要なものを整理されずに作られるという傾向があります。</p> <p>今のマエダアリーナは作られた当時はトレーニングシステムの施設に設置している物の利用勝手が悪くて、現場ではほとんど使い物にならないということもあり、何のためにたくさんのお金をかけて設置したのかということがありましたので、一番現場が欲しがっている、有効に使えるものが最優先されるということがヒアリングを通して認識するべきではないかと思います。</p> <p>それから、利用人数が少ないものについて、あまり大掛かりな経費を投入していくことを避けなければならないので、そこもしっかり議論する必要があると思います。</p> <p>また、事業手法についてですが、各地域色々活性化されている地域というのは民間の活動がかなり活発化していますので、そこで色々な競争が起こり、色々な雇用が生まれ、その施設を子供たちが遊ぶということは非常に有効なことだと思います。また、その施設を目にした子供たちが小学生や中学生、高校生になったときに、この施設が地域に誇れる施設として、何歳になってもこの子供たちが自分の子どもを連れて遊びに行ったり、大人になっても自分たちが使いたいと思えるような、魅力的な夢のある施設にしていかなければ、この年代だけで利用して終わりということではなく、継続的に三十年も四十年も使っていただけるイメージで検討していただければと思います。</p>
座長	<p>次の委員をお願いします。</p>
委員	<p>資料2について、地域の住民の方々には交通アクセス、特に新駅の問題について関心を持っています。</p> <p>新駅の設置の必要性を感じておりますが、具体的に進めるに当たって、県知事の記者会見にありましたが、市にデータが欲しいということが出されております。市としては、この新駅の設置のためのデータというものをどのような手法で、どのような形のものを考えているのか。あるいは蓄積されているデータを加工されるということになるのか。そのようなことを少し参考にお聞かせ願えればと思っております。</p>

座長	事務局の方からお願いします。
事務局	<p>駅を作るにあたって、県からこういったデータの情報提供をいただきたいと御意見いただいております。それを踏まえて、どういった形でお出しすればよいか、いただいた御意見を踏まえて県とやり取りしながらデータを出していけるよう、準備をしようとしているところでございますので、もう少しお時間をいただきまして、出せるものからしっかりと準備していきたいと思っております。</p>
座長	次の委員をお願いします。
委員	<p>新駅について、障がい者の方のアクセス等もありますので、中々車で来られない方にとっても、新駅というのは色々な町会の方の色々な意見があることはいいと思います。</p> <p>協議に時間が結構かかってしまうので、早めに話を持っていかなければ、アリーナができて新駅ができないということもありうるかと考えておりました。</p> <p>また、事業手法について、市のみで行うと資金面で結構かかるということで、一部民間の資金も使ってということになると思います。ただ、全てを民間に丸投げのような状態になってしまうと、民間の方ではこれで大丈夫ですということになっても、市の方できちんと精査して違う所は違うと指導していける体制を作ることを考えていただきたいです。</p> <p>アリーナはスポーツもできるし、軽い運動もできるし、障がい者ダンスやその他色々なものができるとなれば、人も集まってくるでしょうし、色々なことができることを市民の方に周知するなど、ただアリーナができてスポーツができるようになったとだけにならないよう考えていただければと思います。</p>
座長	何か意見等ございますか。
事務局	<p>駅のお話でございまして、市としては県にしっかりと要望していくということ、それから駅の時期に関わらず、バスも含めて公共交通としてはしっかりとアクセスできるように考えていきたいと考えております。</p> <p>民間事業者へ丸投げにならないようにとのことで、経営の状況をしっかりと御報告いただいてモニタリングしていく体制が必要だと思っておりますので、そういったことにつきましても、今後条件を決めていく中で検討していきたいと思っております。</p>
座長	次の委員お願いいたします。
委員	<p>新しく手掛けるアリーナについて、スポーツのみならず、多様な開催ができる交流拠点として、ただの体育館というのではなくて、アリーナとして最後まで進めていって欲しいです。</p> <p>また、最近の動向としましては小学校の部活がなくなり、地域のスポーツ少年団に移行し、学校教育活動がなくなってきており、中学校の部活についても準備段階に入ってきてますと、だいぶ変わってきています。</p> <p>それは、少子化ということもあるかと思いますが、各スポーツ団体と地域がしっかりとした組織になるのかどうか、不透明ではありますが、これを考えていかなければ</p>

	<p>ならないと思います。</p> <p>また、民間活力という中でハードの話がありました。可能であれば、商工会議所や観光コンベンション協会などの地元の経済会の関係者からすれば、地元企業の参入機会ということ強く意識していただきたいと思います。</p> <p>首都圏の専門メーカーや大手企業が参入する可能性があります、地元企業の参入機会ということも強く意識していかなければ、スキルアップということも中々得られないので、こういった現状を踏まえた中で、大規模プロジェクトに関する地元企業ということをお願いしたいと思います。</p> <p>また、ある程度の骨格が決まると、施設の備品等の話になるかと思いますが、ぜひとも最新の大きなスクリーンを揃えなければ、プロスポーツイベントあるいはコンサートといったものにお声が掛からないかと思います。だいぶ予算がかかるとは思います、そこだけはしっかりやっていただきたいと思います。</p> <p>それからもう一点、スポーツという概念の中で、最近eスポーツは、これからどんどん競技人口といますか、そういった愛好者が増えている中で大会等が、現状であれば、首都圏であればビッグサイト、幕張等でものすごい人数で開催されております。これは地域にも愛好者がいることかと思ひますし、こういったケースから、新しいものとして期待が持たれるのではないかと思ひます。このことから、従来型のスポーツやコンサートだけではないということの意識があればと思ひます。</p>
座長	<p>次の委員、よろしくお願ひいたします。</p>
委員	<p>資料1の4ページ目を見ていただきたいのですが、事業手法ということでPark-PFIとDBOを併用するような形が、一番財政負担が少ないような話を先ほどいただきました。その中で、どういふ民間事業者が関わるのかということになりますが、大きく二つに分かれると思ひます。</p> <p>一つは設計・施工・施設管理と一部造園が入るかもしれませんが、いわゆるハードウェアを整理するところ、そしてそれを維持管理や運営、飲食物販といった、いわゆるソフトウェアのグループ、ここで大きく分かれると思ひます。</p> <p>この二つを一緒にしないほうがいいのではないかなと私は考えます。もちろん、設計・施工・管理については二十年どころか五十年くらい見てもらわなければいけないですから、ここは一つのグループとしてしっかりやっていただくということなのですが、ソフト部分というのはどんどん新しく変わっていきます。ここで求められている運営というのは、単に地元のスポーツ大会やりますといったことではなく、場合によっては世界中から新しいイベントやコンサート、スポーツ大会などのそういったことを誘致できるような高いスキルが求められると思ひます。物販飲食も同様だと思ひます。</p> <p>ですから、そのソフト部分は分けて、もっと短いサイクルで行い、難しいようなら交代していただくくらいの、みんなで評価をしながら一緒にやっていくというスタイルにした方がいいのではないかと思ひます。</p>

	<p>また、昨年の十二月に渋谷公会堂が建て替え工事中ですけれども、渋谷公会堂は渋谷区が建てて指定管理で運営面を任せることになっていますが、従来から指定管理として入っていた運営会社とそれに加えて芸能大手のアミューズ、それからLINE、が一緒になったSPCを作って指定管理者になりました。つまり、大手企業等の力を使って一層新しいことに取り組んでいこうというそういう表れだと思います。</p> <p>渋谷だからこそできたということではなく、青森においても新しいことに取り組み、そして外部から人を呼び込めるような、そういうアリーナにしていくためには、ソフトとハードを分離したほうがいいと思います。</p> <p>だからといって、東京本社の手元企業に全て持っていかれては駄目なので、やはり地元企業の参入機会を与えて、一緒になってスキルアップしていくとそういうことを考えてもらえたらと思います。</p> <p>それから、駅について話でしたが、単にアリーナ施設ができれば自動的に駅ができるという話では決してなくて、エリア全体がどういう町になっていくのかということを示さないとおそらく駅の話が進んでいかないと思っていて、それは引き続きアリーナ部分だけではない全体計画ということも検討を続けていただきたいと思っています。</p> <p>また、少し細かい話になりますが、資料3の3ページ目の照明設備にLED照明を使用するということが書いてあります。具体的には事業者提案によるということですが、恐らくLEDは消費電力が少なく、長寿命だからという理由だけだと思うのですが、LEDは普通の光に比べて同じ強さの光でも人間の目には非常に眩しく感じるという特性があります。原因がよく分かっていないらしいですが、スポーツの真剣勝負のときに、そういう余計な眩しさがあればあまりよくないですし、これはスポーツの専門家の方の御意見も聞かないといけません、スポーツに適した照明で一番合理的なものということで選んでいかれた方がいいのではないかと思います。</p>
座長	事務局から何かありますでしょうか。
事務局	<p>事業手法のところでお質問いただきました。まずハード面とソフト面の企業を一緒にしない方がいいのではないかとこのことですが、一緒にしている狙いとしては、運営しやすいような設計も含めて御提案をいただきたいという思いがありまして、分けてしまうと、ハードを管理する側にとってはいいけれども、運営してみると運営しづらいということにならないように、グループとしては一体としてやっていただいた方がいいと考えております。</p> <p>また、交代させられないかということで、一つの手法ではありますが、やはり求めるものとしてはしっかり市が求める要求水準を、新しいものも含めて運営いただけるような要求水準を満たし続けていくことが大事になっていくかと思っておりますので、モニタリングをしっかりしていくこともありますし、要求水準を仮に下回った場合にどう対処するか。その中で交代していただくのも1つの手法でもありますし、ま</p>

	<p>た、要求水準をどう設定するという観点でも引き続き検討はしていきたいと考えています。</p>
事務局	<p>LEDの件についても、競技に適した照明ということを要求水準書に盛り込みたいと考えております。</p>
座長	<p>次の委員、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>アリーナの問題については非常に進んできていると思いますが、それに伴う道路アクセスが全体の中では、非常に出てくるのが遅いと感じ、果たしてこれで、アリーナが出来た段階でスムーズに交通が流れるのかという懸念を持っています。</p> <p>また、高齢者や障がい者のトイレの問題ですが、設置する方向になっていますが、これには当然防災も絡んでくることなので作って然るべきと思います。</p> <p>それからもう一つ、今現在、操車場跡地というのは、子ども達がサッカーをしたり、複数のスポーツ団体等が使用していますが、アリーナが出来ることにより、料金を支払わなければならないことや、これまでのような利用は確保できるのだろうかという話があります。</p> <p>現在は無料でありますことから、利用方法についても十分考えていかなければならないのではないかと思います。</p> <p>それともう一つ、ジョギングコースについて、観客席を回るコースになるといった方向で検討しているのかお聞きしたいです。</p> <p>ここまで色々申し上げましたが、アリーナありきではなく、やはり、操車場跡地全体の利用法から考え、駅があつて然るべきだと思います。交通アクセスは重大な問題ですが、進行が遅れていると感じており、もう少し県と交渉し前に進めて欲しいと思います。このことから、やはり駅とアリーナは、両輪のごとく進めていくことが前提になるのではないかと思います。</p>
座長	<p>事務局の方からお願いします。</p>
事務局	<p>駅についてお話をいただきました。まずは県から、こういった情報提供をいただきたいというお話をいただいておりますので、そこをしっかりとお返ししていき、県ともしっかり協議を進めていきたいと思います。</p> <p>道路のところでもお話をいただきまして、少しお時間をいただいて検討をしなければいけないところもありますが、できるところは測量や設計を進めていきたいと思っておりますので、アリーナよりも早く、道路の部分の方ができるところは先に進めていきたいと思っておりますので、同時並行でしっかりと進めていきたいと考えております。</p> <p>また、サッカーで御利用いただいているということで、これから検討する部分もありますが、すべて、アリーナの箱の部分と駐車場で無くなってしまふということではなくて、公園として、引き続き広場で御利用いただける場所も残るかと思っておりますので、そこは、おそらく面積としては少なくなってしまうと思いますが、外も御利用いただきつつ、中の運用については、これから運営の面について考えていきたいと思っております。</p>

	ますので、そちらもよろしく申し上げます。
事務局	<p>あと、ジョギングコースの話がありましたが、ジョギングコースについては、設置はしますが、観客席を回るのか、それとも、1階部分をコースにするか、という部分については、引き続き検討していきたいと思っています。</p> <p>あと、これからアリーナの運営、利用等について、次回の有識者会議の中で皆様から御意見をいただきたいと思っておりますので、その際には、貴重な御意見いただければと思っています。</p>
座長	次の委員、よろしくお願いいたします。
委員	<p>事業手法について、資料1の7ページの②ですが、P a r k - P F I と D B O の併用がいいとのことですが、私自身いいのではないかと思います。</p> <p>今回のプロジェクトは色々な経過がありますが、県や青い森鉄道との協議することがあるかと思いますが、ぜひとも協力して、進めて欲しいと思っています。また、民間活力ということで、民間のノウハウを効果的に活用し、交流人口や利用人口が高まればいいと思っています。</p> <p>これから青森市が色々検討し計画を進めていくかと思いますが、民間に委託することにより権限が民間に集中しすぎないように、柔軟に対応することを確保しながら、実行する責任と監視を市役所が担保するといった姿勢が形として見ればいいのかと思います。</p>
座長	事務局の方からお願いします。
事務局	<p>事業手法のところでお答えいたします。</p> <p>民間への委託については、全てやっていただくという訳ではございませんので、今後の検討事項に記載しましたが、民間とどう分担をしていくかということもあります。実際、実施していく中で当然市の施設であることには変わらないので、市の施設としてしっかりとした運営状況を維持していきますし、そのためにはどうすればいいかこれから考えていく必要があると思っております。</p>
座長	一周しましたので、本日御欠席の2名の委員からあらかじめ御意見をいただいておりますので、報告をお願いいたします。
事務局	<p>それでは、本日御欠席されております、委員について事前に説明をした際にいただいた御意見を御報告させていただきます。</p> <p>一人目の委員につきましては、アリーナの機能については、アリーナの広場、外を利用している方も分け隔てなく、広場も利用できるしアリーナの中でも利用できる、一体で使っていただけるように考えていけばいいのではないかと思います。外を利用している人もいれば、中を利用している人も一緒になって使えるような。</p> <p>二人目の委員につきましては、アリーナの部分で仰っておりまして、飲食店以外の業種で人が集まるようなものがあるのもいいと思うと言っております。</p> <p>これは交流人口の拡大ということでやはり多くの人を呼び込むためには飲食店だ</p>

	<p>けではなく、人をたくさん呼び込めるような内容があってもいいのではないかという御意見でございました。</p> <p>また、キッズルームの部分は、キッズルームで運動する際はただ運動するだけではなく、勉強した上に運動もできるという運営方法があってもいいのではないかという御意見でございました。</p> <p>また、A Iを使うなど何か新しい取り組みがあると非常に良い。とのことでありました。</p>
座長	<p>ありがとうございます。それでは、本日オブザーバーとして参加いただいているお二方からも御意見をいただきたいと思います。</p>
オブザーバー	<p>二点確認させていただければと思います。</p> <p>資料の3のアリーナの機能・運営について、アリーナの機能・運営の検討の進め方(案)という形で御説明いただきましたが、主要機能と詳細機能の方向性の案の提示ということだけで、資料として、おそらく今までいただいた御意見を踏まえて御提示いただき、次回の第7回ではこういった御意見を踏まえて主要機能、詳細機能の方向性のようなものが皆さんに共有されると考えていいのか教えていただければと思います。</p> <p>その上でございますが、主要機能というものを考える上で、今回、事業手法1、2、3を比較してP a r k - P F I、DBOの併用が一番望ましいといった御説明をいただいたところですが、一つだけ気になりましたところが、事業手法3だけがDBOだけという比較検討になっておまして、そうしますと、現在、青森市におかれましてはこの公園、交流、そして皆さん日頃からの賑わいというお話ありましたが、民間収益施設といったものの、設置は現時点で公園としての主要機能と捉えられているのか、今後の検討課題なのか。そのあたりについて御意見を伺わせていただければと思います。</p> <p>また、詳細機能の提示という部分で、防災機能の御意見で、備蓄倉庫の話、トイレの話がありましたが、近年の災害の中でもう一つ、やはりよく課題となりますのが電源の部分があります。非常用の発電施設みたいなものを、主要ないし詳細機能の中で考えておられるのか、その点についてお聞かせ願いたいと思います。</p> <p>お聞きしたいのはこの二点ですが、P a r k - P F Iを今後検討されるとのことで、制度ができてから全国で、現在、20事例強の導入事例が出てきております。色々なパターンが出てきておりますので、ぜひ他の事例も情報提供できますので、参考にしながらこのアリーナが建設される公園に一番適した要求水準書案というものを、今後検討していただきたいと思いますし、お手伝いできる場所はお手伝いさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
座長	<p>二点質問と言うことですが、いかがですか。</p>
事務局	<p>最初の質問の主要機能や詳細機能のことですが、昨年度アリーナの有識者会議の中でいただいた御意見、あと、競技団体からいただいた御意見を踏まえて、今回主要</p>

	<p>機能の方向性と詳細機能の方向性を提示しているものでございます。</p> <p>今回、それも踏まえて有識者会議の委員の皆様からの意見と、現場の声といった声もありましたのでそういうところも聞きながら第7回の際にはそういう形で提示したいと考えてございます。</p>
事務局	<p>民間収益施設の部分についてですが、事業手法の③だけ比較してわかりやすいように、P a r k - P F I が民間収益施設を設置するということがそもそもの趣旨であり、一方でD B O の場合は必ずしもそうではないということと比較するためにここには記載はしておりませんが、もともとはP a r k - P F I をはじめとした事業手法について検討していきますということで申し上げておりましたので、市としては民間の収益施設も併設してそういうことも念頭において使いたいと考えていたところでございます。</p>
事務局	<p>非常用発電につきましては、今後とも要求水準書の中で必要な御意見として盛りこんでいければと思っております。</p>
座長	<p>次のオブザーバーの方をお願いします。</p>
オブザーバー	<p>資料3の1ページの観客席を壁面収納式にしますとありますが、あまり電気設備系で動かすようなものでないもの、長く管理する上では簡易に人の力で動かせるようなものでなさらなければよろしいかなと申し上げたいと思います。</p> <p>また、外側も雪対策とか長く管理していく上では非常に大事かと思っております。市の中心部なのでシンボリックなものにしたいと言う方もいらっしゃるのかもしれませんが、やはり雪対策としてはシンプルイズベストと非常に思いますので、一意見としてお聞きいただければと思います。</p>
座長	<p>ひととおり御意見をいただいたので他の委員からの御意見を踏まえて、御意見、御質問があればどなたからでも伺いたいと思います。</p>
委員	<p>オブザーバーの方からも話がありましたが、全国、もしくは国外の事例について、事業手法の事例について紹介していただきたいと思っておりますので、ぜひ、調べた結果をお知らせいただきたいと思っております。</p>
座長	<p>私から皆様の御意見を伺って少し気になることをいくつか申し上げます。</p> <p>一つは本日の御説明にありましたけれども、前回までにおおむねアリーナの規模を含めて、主要機能と詳細機能を次回に向けて詰めて、次回と次々回で検討しようという段階です。皆様におかれましては、細かいスペックを詰める最後の機会になりますのでぜひそのあたりのことについて御確認いただきたいと思っております。</p> <p>少し気になりましたのは、使い勝手がどうか細かいスペックの決め方をどうするべきか。これは要求水準書の中では大まかにするかもしれませんが、それを実際が上がってきたものを市役所がどう判断するか。その判断する能力が市役所にないか良いのか悪いのかよく分からないので、これをしっかりと培っていかねばならないと思っております。</p> <p>私事にはなりますが新しいスマートウォッチを購入し、スポーツクラブに入った</p>

りしまして、これは脈拍を自動計測し、加速度計が付いているので運動強度が把握でき、GPS機能によりサイクリングやジョギングの際、どこをどう辿ったか地図で把握できる、こういったことが全てスマートフォンに送られてきて見ることができます。

また、スポーツクラブに行くと、マシンで運動をするとQRコードを写真で撮るとどのくらい運動し、どのくらいの強度でカロリーを消費したのか、というくらい最先端で、大規模な投資ではなくても通常のスマホアプリや通常の腕時計、そういうものを使うことで、これまで大掛かりではないとできなかったことが非常に簡単に出来るようになってきております。

市役所は大きな組織なので、こういうものに詳しい方もいらっしゃると思います。先ほどスクリーンの話がありましたが、こういうものは日進月歩しておりますので、購入費用が膨大に掛かるがすぐ時代遅れになるということが多々ありますので、非常に無理な注文ではありますが、最先端機器等への感度を上げていかなければならないかと思えます。

また、部活がなくなる、といった話がありましたが、誰がこれを引き受けるかといいますと地域のスポーツクラブや少年団になるのかもしれませんが、例えばプロのスポーツクラブを地域で受け皿となるような外の理念としてスタートして、現実的にどうかということは別としまして、そんな地域のスポーツ活動が必要かと思えます。

また、競技スポーツと市民スポーツをいかに両立させて受け入れられる入れ物にするかということが当初からの大きな課題だったかと思えますが、そういう方向性がもう少し具体的に可能ではないかと思えます。

現在、誰が一番最先端なやり方をしているのか、というのは実は誰にもよく分からないですがビジネスの世界の民間参入、一番の最先端のマネジメントだったビジネスモデルでどう動いているかということだと思えますので、そこは引き続き勉強していただきたいと思えます。

最後になりますが、アリーナと外を一体的に考えることについて、可能かどうかは別として、一度考えてみるに値するアイデアではないかと思えます。

かつて、10年以上前に屋内プールを芝生の広場の真ん中に作って、夏場の外に開いて交流ができるような施設で、箱だけの中だけの使い方だけではなく、外と一体的に使えることで、もう少しバリエーションのある使い方ができるというような可能性も、せっかくこれだけ周りの敷地に恵まれているので、考えてみる余地はあるのかと思えます。

本日は色々と意見を申し上げましたがこのような感触を持った次第であります。